



# もりの手紙

mo ri no te ga mi

2  
Feb.

森にいこうよ!  
もりメイト俱楽部  
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美  
広島市中区白島中町 12-4

TEL 090-6419-7531

e-mail info@morigame-ch.com

URL https://www.morigame-ch.com/



No 343 / 2026

声かけあって  
事故を起こさない!  
起こさせない!  
目指そう  
安全・安心・楽しい  
森づくり活動を!!



## contents

★ 2月例会案内・2月23日(月・祝)  
鷹の巣山遊歩道復活大作戦 ..... 2

★部会報告  
里山部会：柿の木伐採他  
クラフト部会：イベント準備  
環研部会：植物観察会 ..... 3

★【特集】チェーンソー研修会  
井本講師より基本を学ぶ ..... 4、5、6  
受講生からの感想 ..... 7

★ 2月活動予定  
各部会の活動予定  
ひろしまドイツクリスマスマーケット ..... 8

井本講師を迎えてチェーンソー講習会、「基本のき」を学ぶ！ 詳細は4~7ページに掲載

## 私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆イオンリテール株式会社 イオンスタイル広島府中  
(イオン幸せいの黄色いレシートキャンペーン)
- ◆(有)ジェイ・アセット・マネジメント
- ◆公益信託 富士フィルム・グリーンファンド

《ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略》

もりメイト俱楽部  
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。  
森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。  
森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。  
森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

俱楽部のメイン行事（原則第4日曜日）  
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト俱楽部 Hiroshima は 1997 年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。

# 案内



## 2月地域貢献例会【担当3班】

### 「鷹の条山」遊歩道復活大作戦



広島市森林公園内の山城である鷹の条山にはかつて3本の遊歩道がありました。現在は左回りコースのみ通行可能としていますが、公共施設の魅力向上のために見晴しの良い中央コースの復活を目指して階段の補修などの整備を行います。是非ご参加ください。

◆日 時： 2月23日（月・祝）9時～小雨決行

※担当班のメンバー&リーダーは8時30分までに集合して下さい。

◆会場：広島市森林公園（東区福田町字藤ヶ丸 10173番地）

※集合場所：職員用駐車場（入場ゲート手前右の広場）

◆持参物：山の道具・飲み物・弁当・名札・笛

◆申込み：2月11日（水）までに各班長へ連絡。

※新入会員、賛助会員その他参加希望の方は事務局へ電話かメールでご連絡下さい。

090-6419-7531 : [info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)

※会員外で参加される方は、参加費500円を受付にてお渡し下さい。

広島市森林公園のホームページから「鷹の条山山城展望台」についての解説を抜粋しました。



↓  
『毛利元就時代の山城を再現』



この山城展望台は、戦国時代の知将毛利元就が活躍していた頃の山城を時代考証し再現したものです。  
元就時代の中世の山城は、山の頂上付近を段々畝状に造成して築き、その一つずつの壇を曲輪と言います。  
山城は一般には数個の曲輪で出来ていて、要所には掘立柱で建てた小屋や木の柵が配置されていたようです。  
広島城のように平野に築かれた平城が主流になったのは安土桃山時代以降とされ、元就の時代には広い水堀、高い石垣や壮大な天守はなかったそうです。



～3月例会は、4班の担当です。22日の第4日曜に予定しております。詳細は3月号会報にて～

## 2026年1月11日(日)： 参加者 13名



■天候雪、気温5度。今年最初の部会。開催取り止めか、朝の6時降雪状況で判断とした。当日朝気温0度。降雪無く朝日が差す天気に開催決意し出発。狩留家～白木近くになると予報通り雪が降りだし道路周辺は一気に真っ白。判断ミスかと思いつつ妙國寺へ。8時過ぎに着いたが先着6名に勇気もらう。

本日依頼受けていた柿の木2本伐倒について、まずは状況判断となり先着7名が現地へ。現地は4m近くの降雪であったが、風もなく安全作業に支障ないと判断し9時作業開始。樹高12m近くの富有柿2本、安全伐倒作業に徹するため、チルホール補助でのチェーンソー伐倒を行う。最初は恵木・佐藤・次が先月伐倒受講生の西村、指導者富田。他参加者も手際よく役割分担し作業は10時半終了。妙國寺に帰ると山本理事長他6名が薪小屋の薪棚整備と薪割機械の点検中。この雪の中、山が好きな仲間の集合に“ほっこり”とした。2年前の春に植菌した椎茸骨木に椎茸の芽が覗いており、全員で鹿対策のネット張りを行い作業終了。

## 里山部会長 佐藤 謙治

昼は妙國寺厨房にて暖を取らせていただき、坊守様ご好意の味噌汁と柿の木伐採した箱崎様のおもてなしの「せんざい」を頂きながら談笑、午後1時に閉会とした。これも「森を知り・森を大切にし・森を楽しむ」活動の一環かと。今回の活動で、雪の中の伐倒・広葉落葉樹である富有柿の樹形による伐倒方法・作業スキル・ワイヤーとロープ張力の安全率など知識の必要性を考えさせられた。伐倒のメカニカルについてスキルUPを誓った活動となりました。



柿の木伐倒



妙國寺厨房にてくつろぎのひと時

## 2026年1月10日(土)17日(土)： 参加者計 13名

## クラフト部会長 岩田 幸信



ビスの仕分け作業：鋤田さん(左)と青木さん



## 松ヶ原もりメイトキッズフィールドでの植物観察会



■昨年11月24日(月・祝)、大人14名、子供8名、計22名が参加。

会員のご家族やお友だちなど、初めてキッズフィールドに来られた方がたくさん参加して下さり天気にも恵まれ楽しい観察会となりました。

講師は植物に豊富な知識を持つ見勢井顧問と、原田澄さん(3班)。俱楽部員が中心の大人グループと、子どもを交えた家族のグループに分かれスタートしました。

■新年に降った雪で、鹿ヶ谷にあるベース基地までの登り坂に残雪があるかと心配しましたが、何事もなく新年最初のクラフト部会を開催。いつも通りに9時集合、お茶を飲みながら雑談及び作業内容の周知、安全確認をして作業に取り掛かりました。この日の作業は、俱楽部主催のイベント等に使う机の天板2枚の作成依頼があり檜材で作りました。ほかの作業は1月31日の「ゆうゆう横川」での見本モデルの作成と、24日大竹松ヶ原町集会所で行われた「こぶしの里」でのクラフト指導(干支の馬)の最終チェックを行いました。翌週の17日の作業は、佐々木環境教育部会長を交えて、「こぶしの里」で行われた材料の最終チェックと倉庫の棚卸しを行いました。



## 環研部会長 佐々木 綾子



葉の説明をする見勢井顧問(右端)

目的には美味しいと噂のコシアブラをしっかりと見ることが出来て心が躍りました。今後松が原へ伺った際、同じ植物の季節毎の姿を観察してみようと思います。』と、感想を寄せてくれました。

大人グループは、紅葉の仕組みや、大竹特産のコウゾのことなど、見勢井顧問が専門性を發揮して説明。家族チームは、観察に加えゲームや絵本の読み聞かせなど、自然とのふれ合う楽しさを狙いとしたようです。

俱楽部の会員で家族チームに参加した佐藤さんは『晩秋のひんやりと気持ちの良い空気の中で、植物に触れ、遊び、楽しませていただきました。赤や黒の木の実を発見し、こどもと共に五感を使って楽しめました。個



# 第2回チェーンソー研修会!! 12月14日

研修例会

井本さんを講師に迎え “基本のき” を学ぼう

参加：会員26名 in 「小川フィールド」

第2回チェーンソー研修会は、スキルUPの機会が少ない入会1年生から5年生の意欲あるメンバーを各班長から1名推薦の予定でしたが、熱意ある部員の申し出により7名の開催となりました。第1回2021年12月は、井本講師のもと4名の開催。私も受講し“目から鱗”的研修会で現在のスキルに繋がっています。今回も、“もりメイト俱楽部”の目指す「森づくり・社会、地域貢献・環境教育・生物多様性保護」、未来に繋げる人財を育成するための研修会として、里山部会の活動場所、小川フィールドを使わせて頂き開催となりました。

以下の研修内容は、指導補助された富田副理事長より寄稿頂きました。**里山部会長 佐藤謙治**

## 《研修内容》 1. チェーンソー操作の基礎と立木伐倒

- 1) チェーンソーを操作時の姿勢・構え方
- 2) チェーンソーの始動方法と手順
- 3) 玉切り時のチェーンソー操作
- 4) 伐倒方向と受け口の作り方（実務）
- 5) ヒノキ立木倒木体験
- 6) ソーチェーンの目立てについて



**《講 師》 「井本敏和氏」 林業技能検定試験（国家検定試験）検定委員**

## 《実技受講生》 各班より選抜

1班 高田・水口・木原 2班 徳永 4班 広瀬 5班 山地・西村：計7名

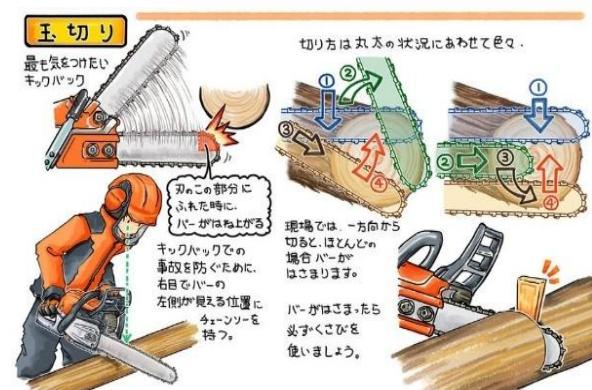
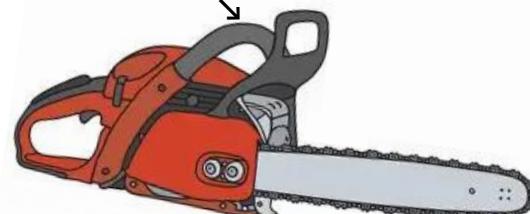
見学参加：19名（里山部会活動含む）

1.前ハンドルは「親指・人差し指」で握り残り3本は添える程度。

2.エンジン始動時は固定して行う

股駆けもしっかりと股で固定♪

前ハンドル



### 3. 「玉切り」 前ページ図も参照。

《ロックの掛け方》 右図は握った状態でロックをかける。  
イメージとしては、右手（リアハンドル）を下げることで  
ブレーキレバーが左手甲にぶつかりブレーキがかかると  
いう流れ。つまり両手を使った操作です。

写真は左手首を不自然に前屈し  
ていて良くない例↓



### 4.受け口の作り方.伐倒方向

受け口：45°の角度で斜め切りして水平切り。

水平切りしてから斜め切り。

どちらからでも良い。それぞれに特徴あり。

\* 受け口は微調整を考え 1/4 を目安とし 1/3 以内に完成させる。

会合線：会合線は伐倒目標に直交した一本の直線に。

(切り口の三角形は受け口の開口部)

\* チェーンソーの回転は低速で微調整

\* **伐倒方向**

チェーンソーのガンマーク線と伐倒目標を直視。

右写真は態勢を整え、方向を確認 →

チェーンソーを右ひざに添えて安定させる、



追い口：受け口高さの 2/3 を基本、水平に切り込む

ツル： 樹径の 1/10 が基本。但し、樹径が 20 cm 以下は 2 cm とする

\* 水平伐り時はチェーンソーのスロットルレバーは右親指で操作

斜め切りの最初（右上の写真）も親指でスロットル操作します。

### 5.ヒノキ立木伐倒「樹高約 20m 胸径約 22 cm」(実技) ↓

《伐倒前に安全確認を！》

- ・上方 「枝がらみ.枯れ枝」
- ・周囲 「不用意に人が？ 安全距離」
- ・前方 「伐倒方向の安全」
- ・足元 「突起物.岩.支障灌木」
- ・避難場所 「安全な場所（木の陰）」

\* 今回の対象木は枝がらみがあり、掛り木が予測される為、  
チルホールでの伐倒を実施。

\* 事前にロープ掛け、滑車、チルホールを設置し準備。

\* 対象木は朽ちた部位があり、胸高の位置で受け口を作る。

\* 笛(呼子)合図 受け口作業開始：1回（ピー）  
追い口作業前：2回（ピー. ピー）  
伐倒完了後：3回（ピー. ピー. ピー）



《伐倒後》：使用したロープを速やかに撤去。

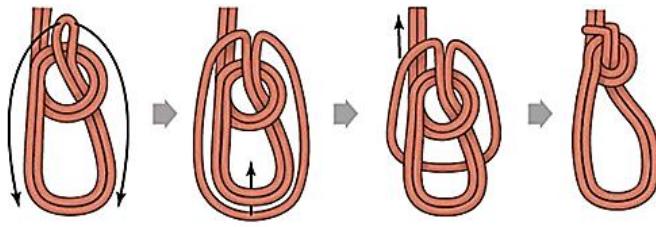
\* ロープを撤去後、枝払い、玉切り。

\* ロープの切断事故多し！！

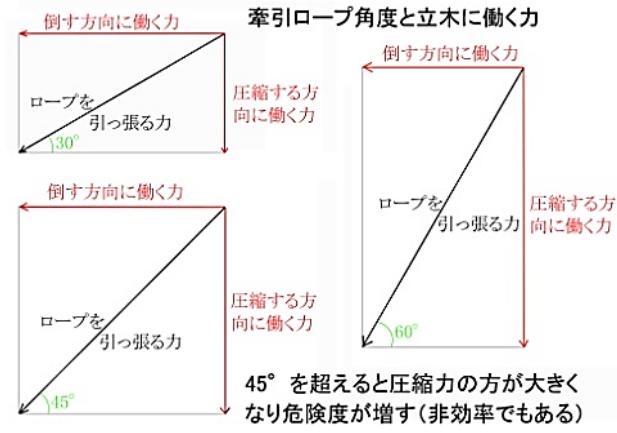
ロープワーク：二重もやい結び。

～強度、緩めやすさに富む～





**ロープ掛け**：対象木の重心を考慮して位置を決める（全て高い位置でなくても良い）重心の上側位で可。ロープを引く角度：30°～45°  
「引き倒す為の角度が必要」

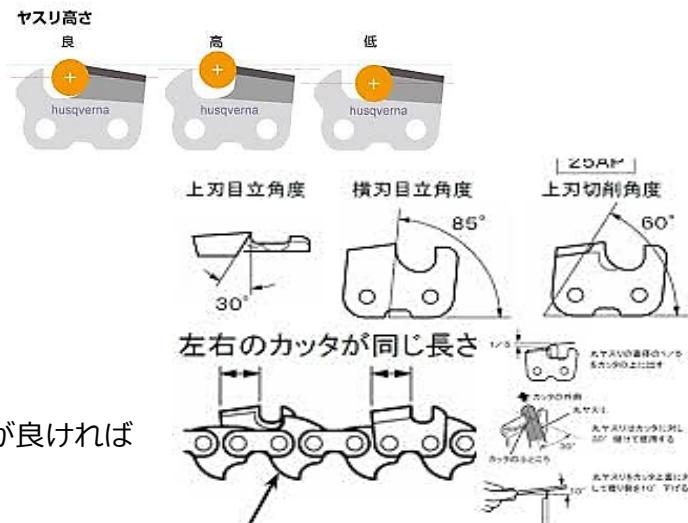


**滑車の位置**：かかり木など斜面で山側へ引く場合などは滑車の位置、付替えを検討

**チルホール**：操作する者は、チェーンソー担当者の指示で操作（合図を守る）

## 6. チェーンソーの目立て

- \* チェーンソーを固定して
- \* チェーンの緩みを無くす（ロック）  
刃を研ぐ時、ガタつくと均等に研げない。
- \* ヤスリを両手で保持し安定さす。
- \* カッター長さのバラツキは 0.2mm 以内。
- \* デプスも定期的に確認
- \* チェーンソーが正常に使用でき、切れ味が良ければ効率も UP し安全作業にも繋がる



講師からその都度、適切なアドバイスや手を添えての指導を頂きました。チェーンソーを操作する時は特に安全を意識し、「フェイスカード、イヤーマフ」を装着すること。周囲で見学（作業）する人も未装着に気づいたら指摘してあげよう。また、その他の装備品（チャップス、安全靴）の安全基準も変わり適切なものを装着するように。お金で買える安全なら投資もやむを得ないかも。等・たくさんのご指導を頂きましたが、聴き漏れもあり一部しかご報告出来ない点はご容赦ください。最後に、推薦された方々からも目立ての大切さをはじめ色々な体験を通じ、実りある研修であった旨の報告がありました。

副理事長　富田 実

### ～井本講師からのメッセージ～

『お奨め本ですが、林業改良普及協会から無料で公開されている良書があります。右の2冊もお薦めです。是非、皆さんに紹介していただければと思います。また、この度の講習が、皆さんの安全に少しでも役立てば幸いです。』

是非検索を！ ↗

※<https://www.ringyou.or.jp/publish/pdf/R6manual.pdf>

講師に聞く　安全な伐木作業の実践マニュアル

※<https://www.ringyou.or.jp/publish/pdf/kakarigi202303.pdf>

「かかり木処理」作業の基本と現場の工夫

### チェーンソーで木を伐る



「チェーンソーで木を伐る」  
2,500円（税抜）  
35cm×90cm

### 10 Steps Method for Felling Training



「10 Steps Method for Felling Training」  
2,000円（税抜）  
35cm×90cm

発行者：Woodman Workshop LLC  
<http://bakkenxx.wisite.com/mysite>

# チェーンソー受講生のみなさんから感想が届いています！

## 水口 勝彦（1班）

『小雨の降る中、心地良い緊張感と新たな学びにワクワクしながら臨みました。安全を第一にチェーンソー操作、作業が決められておりすべて納得のいく教えに感動さえ覚えました。道具の整備はもちろん、安全装備、バーの握り方、トラブルを最小限に抑える立ち位置、伐倒の心構えなど作業にあたるチェックポイントは勉強になり経験を積み自分のものにしたい！と心に決めた1日でした。』

## 西村 博昭（5班）

『今回の講習を通して、安全作業の基本を改めて理解することができた。特に、フェリングマーク(ガンマーク)を用いて正確に伐倒方向を判断することの重要性を学び、作業者自身の安全だけでなく、周囲の人や環境を守るうえでも欠かせない要素であると感じた。今後は、今回学んだ知識を実際の作業に確実に活かし、基本動作を軽視せず、常に安全確認と装備管理を徹底していきたい。』

## 木原 有帆（1班）

『服装の基本から受け口追い口の作り方に至るまでご指導いただきました。伐倒作業では安全確認の方法・ロープの使い方・運用荷重・耐久荷重・チルホールの使い方・もやい結び。目立ての基本を学びました。取扱書からの私も優しい先生のご指導にて受け口を作ることができました。何より安全に確実に伐倒することは忘れません。今後も例会に参加しながら少しづつ成長していくかと思います。』



## 広瀬 祥子（4班）

『チェーンソー講習会に参加し、まさに「目からうろこ！」の一日でした。井本さんの説明はどれも分かりやすく、基本を知るだけで伐倒がこんなにスムーズになるのかと驚きました。自分の癖や体の使い方を見直すことで、作業がもっと楽に、そして安全になると感じています。もちろん、チェーンソーは扱いを誤ると危険な道具。だからこそ、日ごろの整備を大切にすることの重要さも実感しました。最後に、このような貴重な機会をいただき、本当に感謝しています。』

## 徳永 淳（2班）

『まだまだ知らない事の方が多いと感じました。チェーンブレーキは右手リアハンドルを下げれば簡単にロック出来る事。会合線を合わせる際にはスロットルは緩めてひとかきひとかきゆっくり行う事。追い口の高さは下から指2本以上あれば良い事等、新しい発見ばかりでとても有意義な時間でした。最も衝撃を受けたのは自分のチャップスが最新の安全基準に適合していなかった事。買ってからまだ一年も経っていないのに。』

## 高田 信昭（1班）

『受講生の実技に応じて、その都度、的確なアドバイスをいただき、安全確保の重要性を含め初心者にもわかりやすい研修会でした。知識を習得することも大切だけど、なにより実際にチェーンソーを握って経験を重ねていくことが上達の秘訣だとあらためて感じています。小川フィールドではたくさんの伐木予定があると聞いてますので、機会があれば積極的に参加して、いつの日か上達した勇姿を井本講師にも見てもらえるよう頑張ります。』



## 山地 秀司（5班）

『もりメイトに入り、チェーンソーを使い森の再生活動に自分の第二の青春を皆さんと楽しく過ごしています。そのためには安全が第一と考えます。特にチェーンソーについては実際始動してからは、5メートル以内に近寄らない近寄せないことで、自分がどのようにやっているか、一番気になっていましたが、今回、井本先生にそばでじっくりチェックしていただき、次の3項目が頭に残りました。

- ① ハンドルの握り手が親指と人差し指が離れている。水平切りの時は膝の上に本体を置き、親指でスロットルバーを操作する。
- ②. 会合線作り方で、斜め切りをした後、水平切りをする際、最後まで切らず、一步手前で切るのをやめ、バーを傾けて受け口の木を取り除く、最後に低速で会合線が一直線になるように、かぐるように削り調える。
- ③. 目立てと整備は安全第一の一歩だと思っていますので、実際にいろんな器具を使用して目の前で詳しく教わりましたこれからも楽しく活動していきたいと思っていますので、先生に教わったことを実践していきたいと思います。』



—2月—

# 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

☆☆☆色々な依頼に応えるために☆☆☆

クラフト作品のアイディアを  
大募集しています！

～以下の見学、参加もお待ちしています～

■2月は7日、14日の土曜日

山本町鹿ヶ谷基地で活動します。

■連絡先：岩田 080-5751-3798

クラフト  
部会

■日時：2月8日(日)9時～15時

■場所：小川フィールド

～安佐北区白木町中三田地区～

■作業：環境整備（支障木の伐倒）

水路点検・伐倒木玉切り・訓練治具

■持参品：山の道具・水筒・弁当・チェーンソー

■連絡先：佐藤 090-1682-6305

[satoken069@yahoo.co.jp](mailto:satoken069@yahoo.co.jp)

里山部会



もりメイト倶楽部 Hiroshima は  
HP を発信しています。

倶楽部の名前で検索 OK！

～ぜひ覗いてみてね～



盛況！！「ひろしまドイツクリスマスマーケット」体験販売



昨年の12月21日  
基町クレド「ふれあい  
広場にて開催。みんな  
で材料を集め、スツ  
グやダーラナホース、  
リースやキャンドル  
を販売。福本サンタと  
女子パワーが輝いた  
一日でした。

■日時：2月2日(月) 第4回もりメイトキッズの打ち  
18時～ 合わせを行います

■場所：市民交流プラザ 3F

【第4回もりメイトキッズ開催日；3月29日(日)】  
なりきり金太郎「斧をつかってまき割り体験」  
まき割りのほか、シイタケの菌打ち  
体験を行います。Welcome！！

■連絡先：佐々木

[sasaki@morimate-ch.com](mailto:sasaki@morimate-ch.com)



環研  
部会

【3月号】の会報発送作業は下記の通り実施します。  
どなたでも、都合のつく方はご参加ください。  
よろしくお願いいたします。

■日時：2月25日(水) 18:00～

■場所：広島市まちづくり市民交流プラザ 3F



## 会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って  
森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた  
木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。  
私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。

【賛助会員】：倶楽部の事業を支援するために入会した個人及び団体。

年会費

【個人会費】：3,000円

【企業会費】：50,000円

お申込み方法

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383  
【ゆうちょ銀行】15170-18029291  
《口座名：トクヒ》モリメイトクラブヒロシマ

下記まで電話、又はメールで

【電話】090-6419-7531

【Email】[info@morimate-ch.com](mailto:info@morimate-ch.com)